

⑫ 公開実用新案公報(U) 平1-71079

⑬ Int. Cl.

B 25 C 1/00
1/04

識別記号

庁内整理番号

A-7712-3C
7712-3C

⑭ 公開 平成1年(1989)5月11日

審査請求 未請求 (全7頁)

⑮ 考案の名称 空気圧式釘打機

⑯ 実 願 昭62-156374

⑰ 出 願 昭62(1987)10月30日

⑱ 考 案 者	山 田 俊 雄	東京都中央区日本橋箱崎町6番6号	マックス株式会社内
⑱ 考 案 者	村 山 恵 司 郎	東京都中央区日本橋箱崎町6番6号	マックス株式会社内
⑱ 考 案 者	奥 島 英 樹	東京都中央区日本橋箱崎町6番6号	マックス株式会社内
⑱ 考 案 者	足 立 道 明	東京都中央区日本橋箱崎町6番6号	マックス株式会社内
⑱ 考 案 者	塚 越 功 一	東京都中央区日本橋箱崎町6番6号	マックス株式会社内
⑱ 考 案 者	田 中 宏 司	東京都中央区日本橋箱崎町6番6号	マックス株式会社内
⑲ 出 願 人	マックス株式会社	東京都中央区日本橋箱崎町6番6号	
⑳ 代 理 人	弁理士 世良 和信	外1名	

⑳ 実用新案登録請求の範囲

釘打機本体に突設したノーズ内の射出孔を往復動し該射出孔内に供給される釘をノーズ先端部から打出す打撃ドライバと、このドライバを一体連結した打撃ピストンと、この打撃ピストンを摺動自在に密嵌した打撃シリングと、空気圧源に導通されたメインエアチャンバと、前記打撃シリングのピストン上室と前記メインエアチャンバとの間或いは排気孔との間を切換操作するヘッドバルブと、このヘッドバルブに作動信号を送るためのトリガバルブと、前記ノーズの側面に形成された開口部を通して前記射出孔内へ互いに連結された釘を連続的に供給する釘供給手段とを有する空気圧式釘打機において、

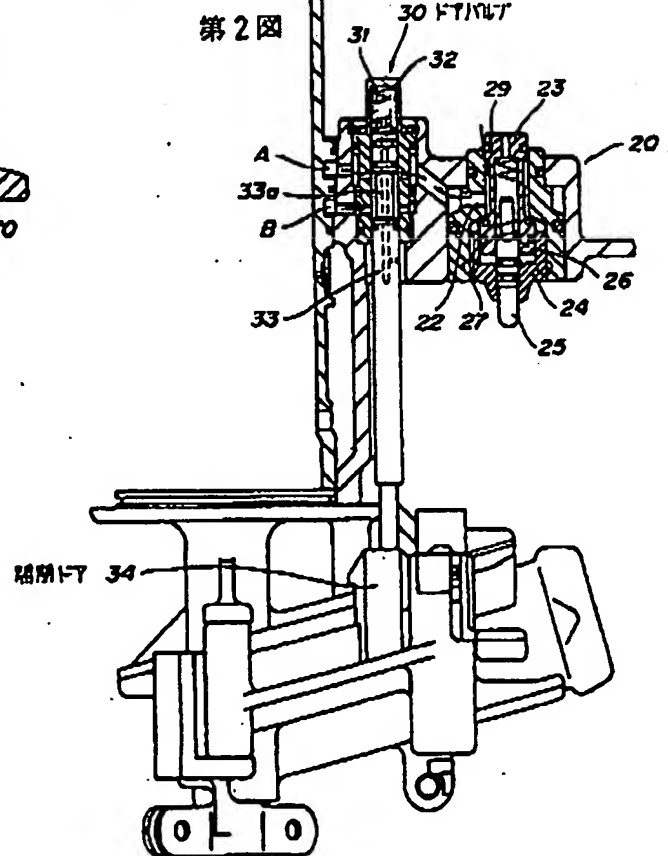
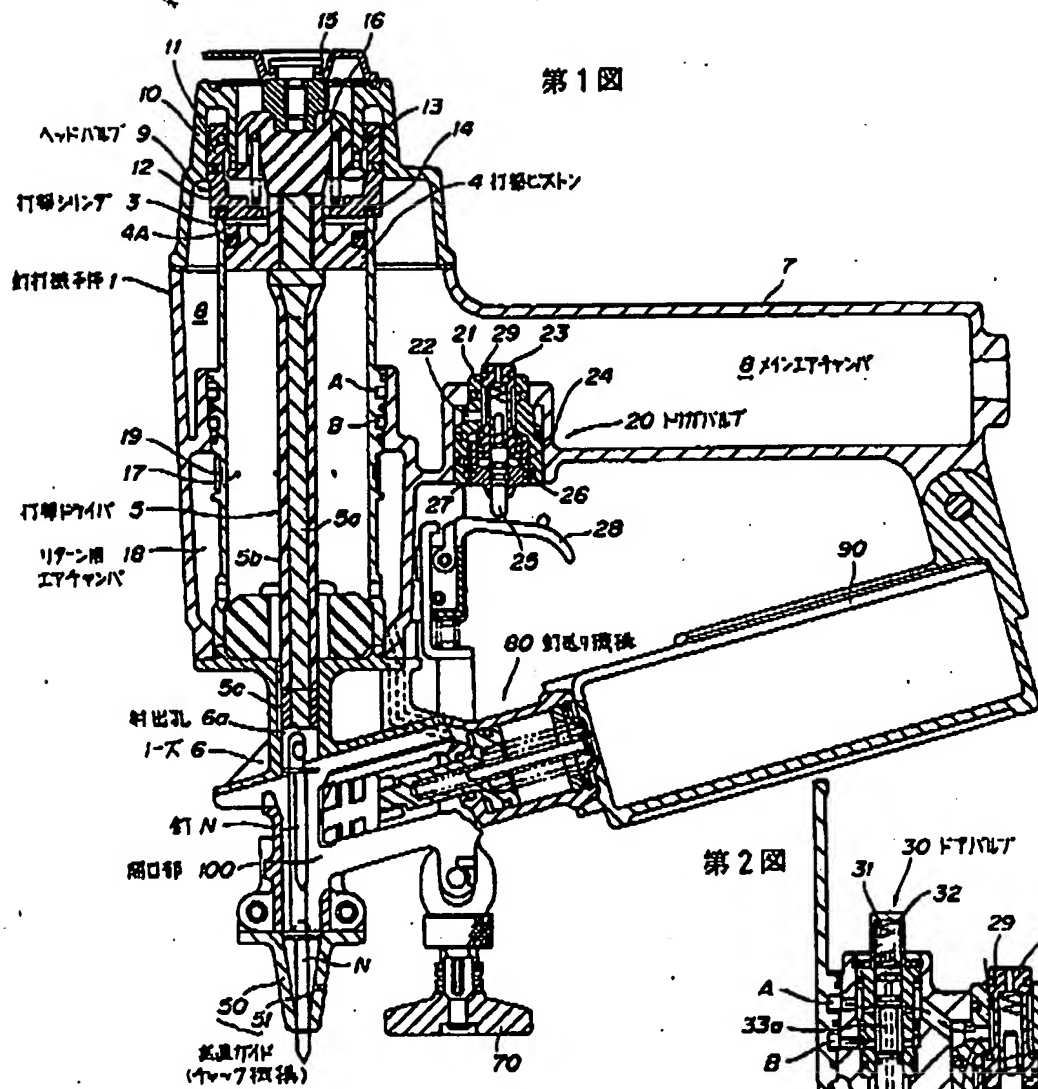
前記ノーズの径方向に出没可能に構成した押出部材と、該押出部材の前記ノーズ内に突出時に同押出部材を移動させて釘を連結状態から解離し前記ノーズ先端部から所定長突出させるシリング機構と、前記釘供給手段に連結釘を装填した際装填終了によつて先端の釘を連結状態から解離して前記ノーズ先端部から突出支持するように前記押出部材及びシリング機構を作動制御するための手段とを具備したことを特徴とする空気圧式釘打機。

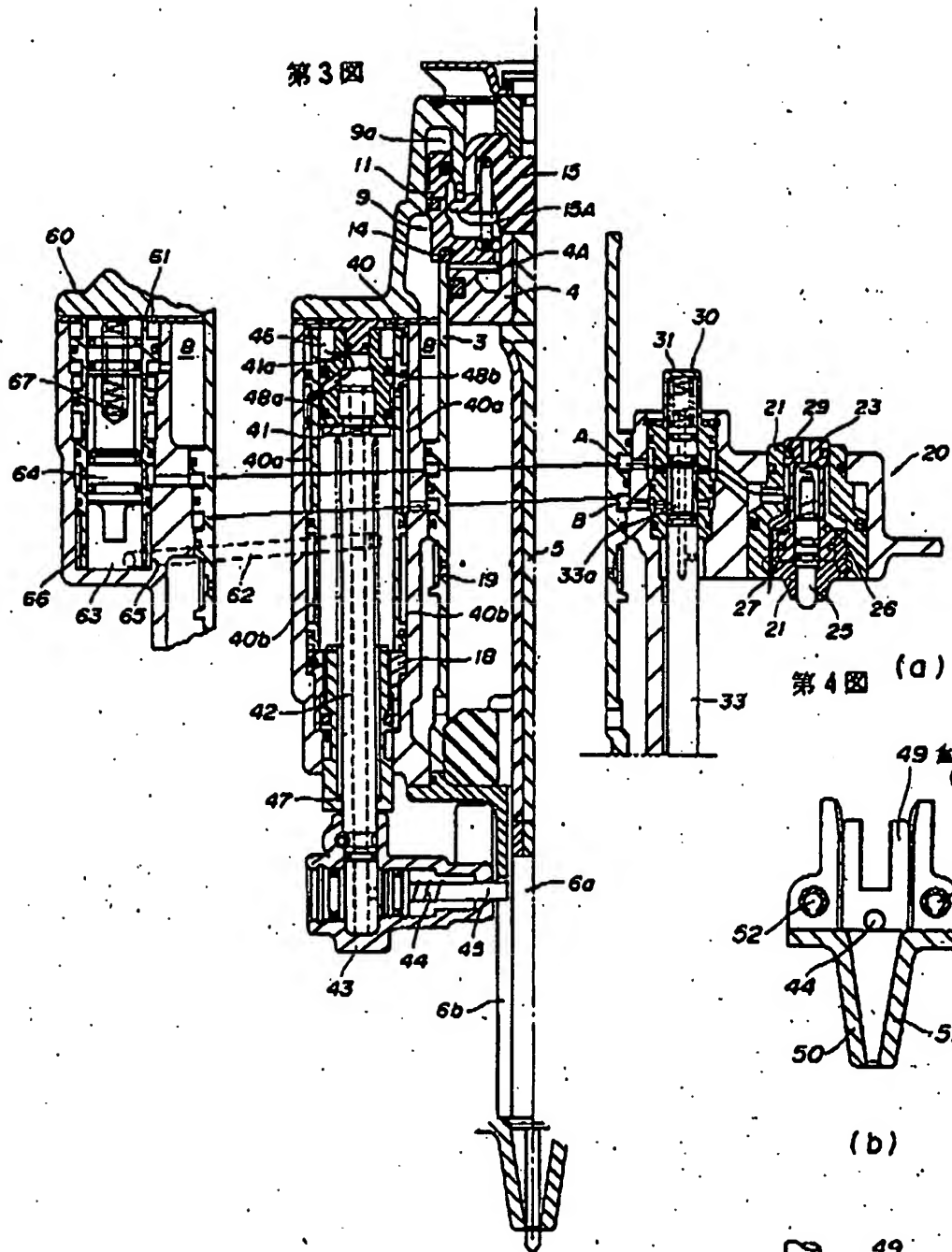
図面の簡単な説明

第1図は本考案に係る空気圧式釘打機の一実施例を示す縦断面図、第2図は同実施例におけるト

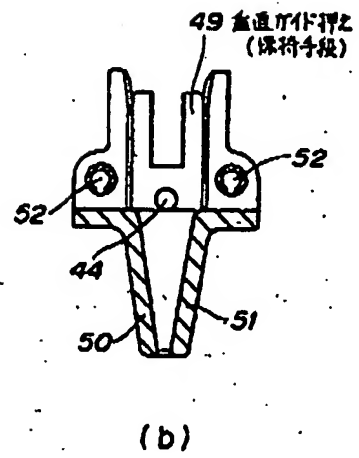
リガバルブ及びドアバルブを示す要部縦断面図、第3図は同実施例のプッシュシリングと各バルブとの連通状態を示す縦断面図、第4図a、bは同実施例におけるチャック機構を示す部分断面図、平面図、第5図a、bは同実施例における釘送り機構を示す縦断面図、第6図、第7図、第8図、第9図は各々同実施例の各バルブの作動を示す縦断面図、第10図a、bは同実施例におけるドアバルブの作動を示す縦断面図である。

符号の説明、1……釘打機本体、3……打撃シリング、4……打撃ピストン、5……打撃ドライバ、5a……軸、5b……円筒体、6……ノーズ、6a……射出孔、8……メインエアチャンバ、9……ヘッドバルブ、20……トリガバルブ、27……通路(排気孔)、28……トリガレバー、30……ドアバルブ、33……ドアバルブステム、40……プッシュシリング、41……プッシュピストン、42……プッシュシステム、45……プッシュロッド(押出部材)、49……垂直ガイド押え(保持手段)、50、51……垂直ガイド(チャック機構)、60……タイミングバルブ(制御機構)、62……連通路、68……小孔、70……コンタクトアーム、80……釘送り機構(釘供給手段)、87……送り爪、100……開口部。

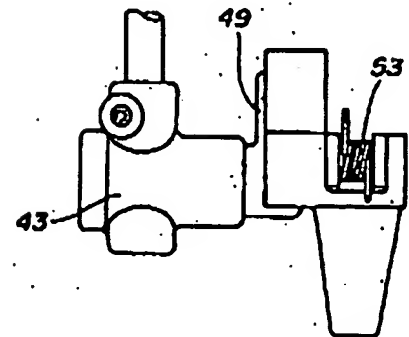




第4図 (a)

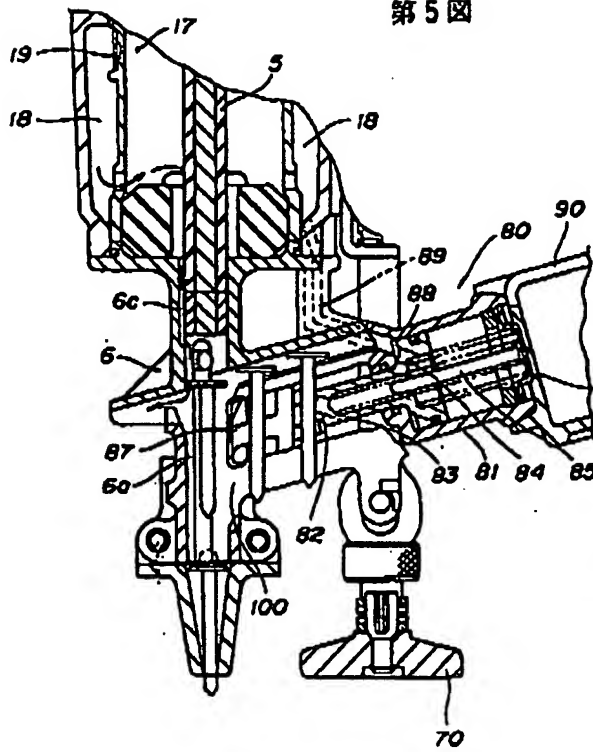


(b)

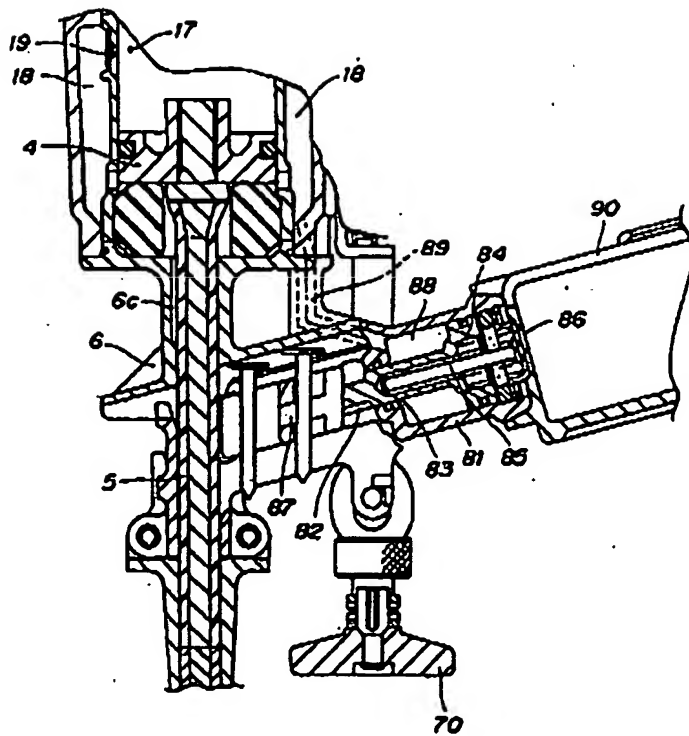


(a)

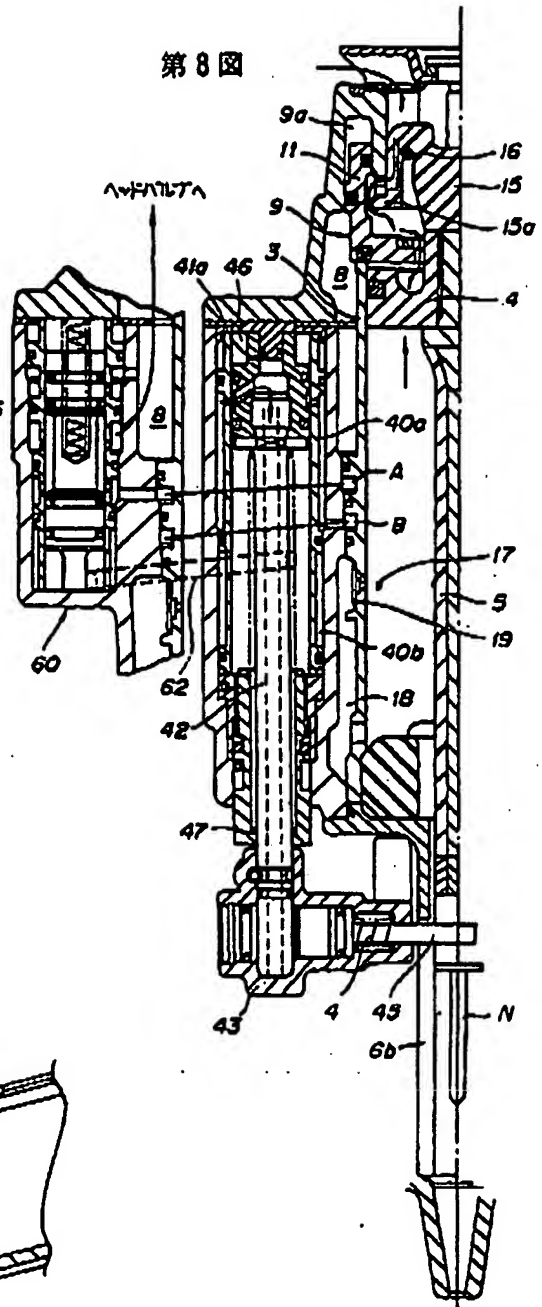
第5図



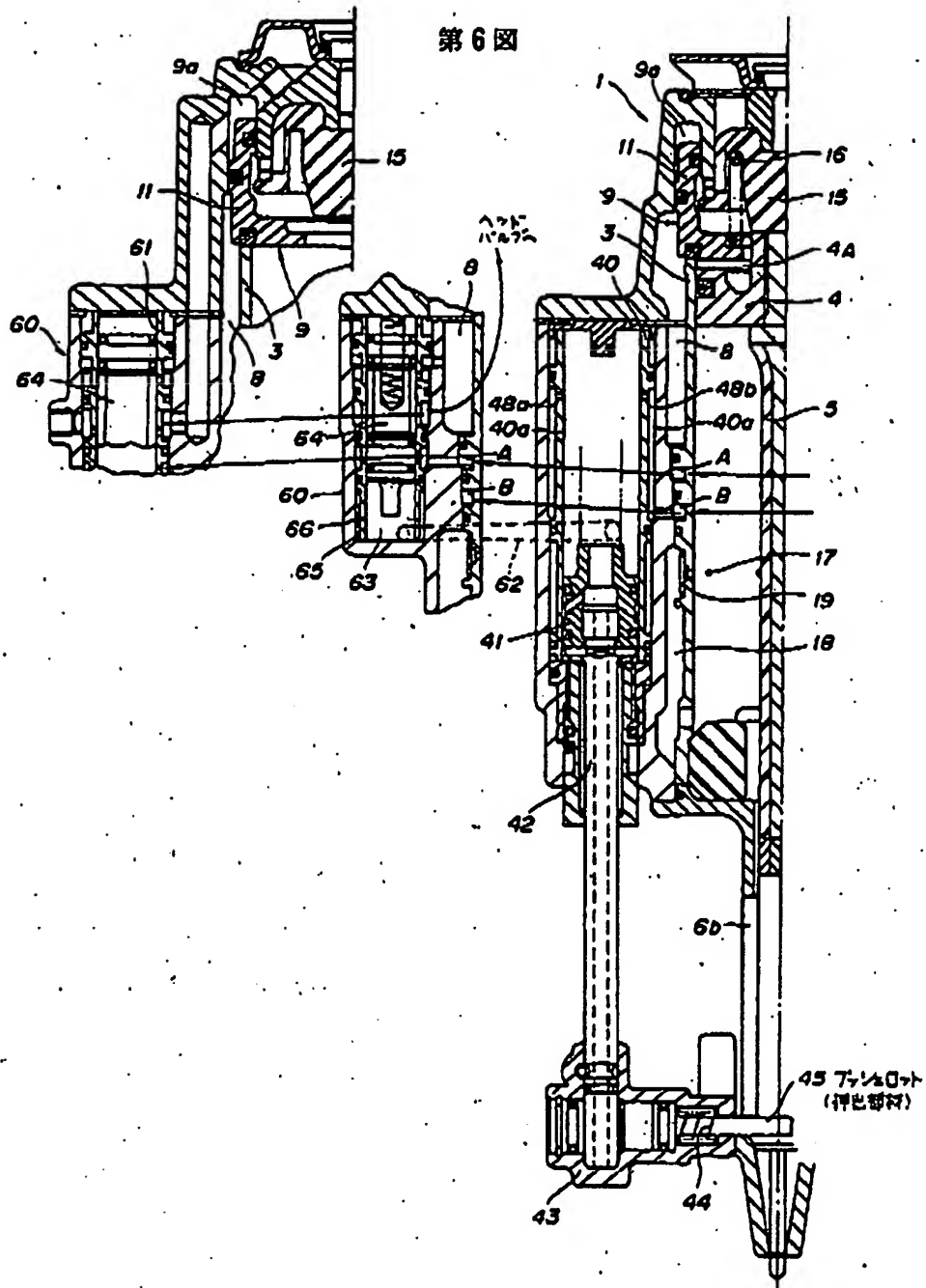
(b)



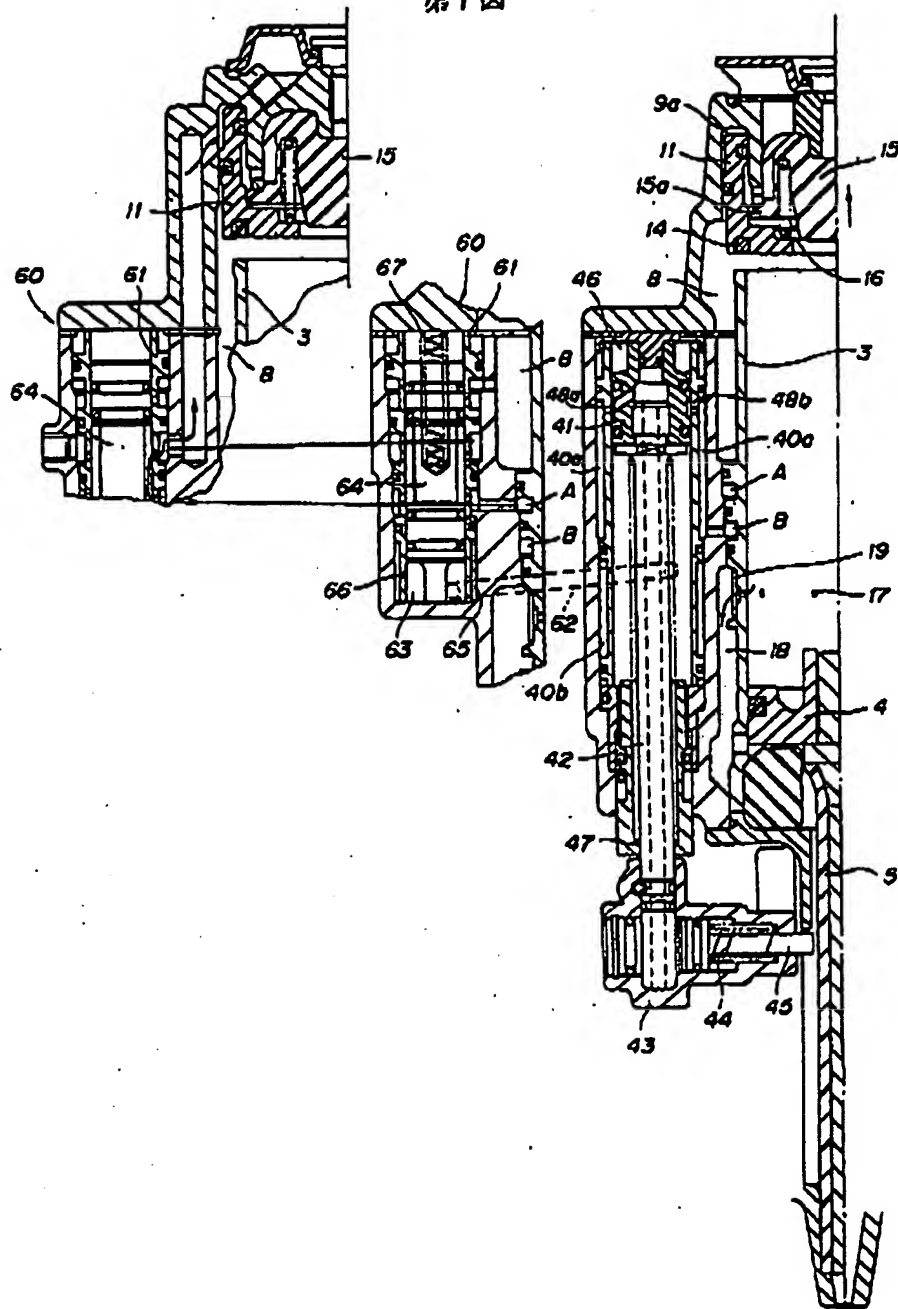
第8図

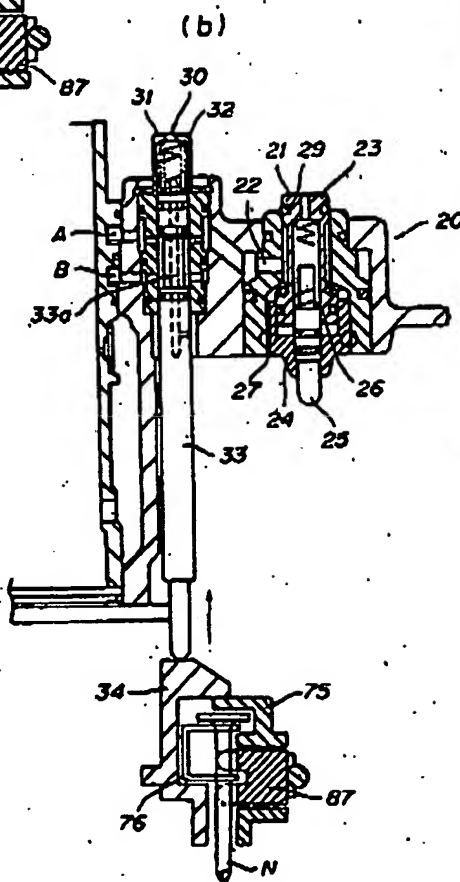
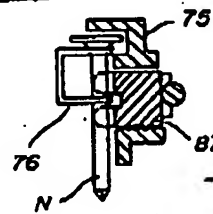
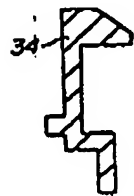
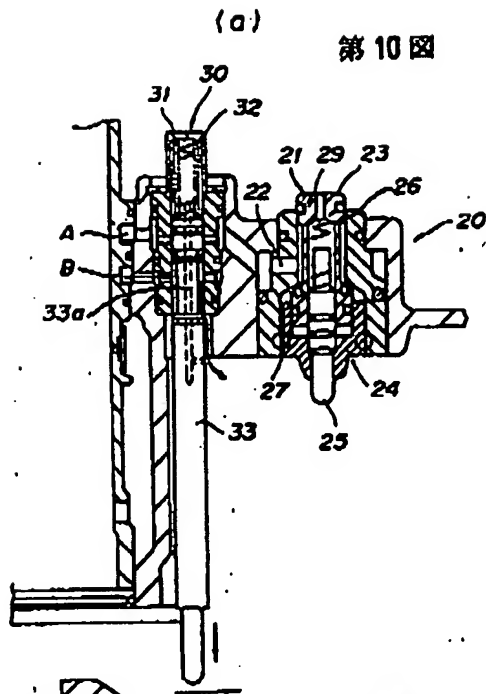


第6図



第7図





第9図

